

裏磐梯だより



磐梯朝日国立公園
裏磐梯ビジターセンター

No.80
2016年9月

小さな世界 ⑯

みなさんは日頃、トンボを見ていますか？オニヤンマ、ギンヤンマ、シオカラトンボ、アキアカネなど一度は見たり聞いたりしたことがあるのではないでしょうか。そんなトンボを、正面から見てみると、大きな2つの眼「複眼」があることが分かります。複眼は1万個以上もの小さな眼「個眼」が集まってできており、複眼があることで、トンボは何と360度全ての方向を見る能够性をもつのです！この視野の広さを利用し、餌を探したり天敵に見つかりしないようにしています。ここからは主觀が強いのですが、トンボを正面から見ると非常に可愛いのです。しばらくじっと眺めてみると、首をかしげるような仕草や上をふっと向いたりする姿を見ることができます。どんどん愛着が湧いてきます。トンボは水辺はもちろんのこと、森や山にもいます。身近な生き物であるトンボが住みやすい環境を守っていきたいです。

（「トンボの複眼」 2016年9月5日）

20 年 月 日
来館記念スタンプをどうぞ

■ スズメバチのおはなし ■

すっかり涼しさが増し、快適なトレッキングを楽しめるシーズンがやってきました。そんななか、スズメバチの姿も多く見られるようになりました。刺されないようにするためには、どうすればよいのでしょうか。

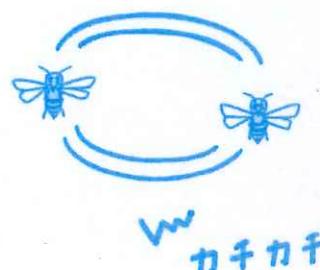
夏から秋にかけて凶暴になるといわれるスズメバチですが、それは生殖能力のある新しい女王バチと雄バチの育成が始まる大切な時期であるために、巣を守る働きバチたちが敏感になるからです。



一番怖いのは知らないうちに巣やスズメバチそのものに近づき、素早く動くなど、誤って刺激してしまった場合です。飛んでいる姿を見たら、近くに巣がないか注意して歩いたり、むやみやたらに茂みに入ったりしないことが重要です。突いたり手で追い払ったりすることはもってのほかです。また、巣に近づくと、じっとしていても敵とみなされることがあります。大顎でカチカチと音を鳴らしたり、左右に円弧を描いて飛んだりする警告行動が見られたら、ゆっくりと後退するようにしましょう（この警告行動を無視すると刺されます）。

スズメバチは、黒色の動くものに強い反応を示すともいわれています。黒い服は避け、明るめの色の帽子を被って頭部を隠すことが効果的です。さらに、香水や化粧品、整髪料などのにおいにも敏感に反応して近寄ってくることがありますので、山歩きの際には、使用を控えることをおすすめします。

スズメバチにとって、刺すというのは防衛行動であり、基本的には「当たらぬ蜂には刺されぬ」です。近づいてしまったり、刺激してしまったりする要素をあらかじめ少なくし、自分のためにも、スズメバチへの思いやりを持ってトレッキングを楽しみましょう。



■ こんなのが見なかった？ ■ 裏磐梯でよく見かける不思議なもの…さて、なんでしょう？

これから裏磐梯の楽しみは何といっても紅葉でしょう。しかし、楽しみは紅葉だけではありません。裏磐梯ビジターセンターの近くにある東園地を歩いてみると、茶色で長い物体が目につきます。

さて、これは何でしょうか？

- ①フランクフルト
- ②ショウブの花
- ③ガマの穂
- ④ソーセージ

正解は③で、「ガマの穂」と呼ばれているものです。ガマは川岸、池や沼などに群生する高さ1.5~2㍍の大型の多年草です。ガマの穂と呼ばれる円柱形の花序が特徴です。雌雄同株で、茎の先に雄花穂、その下に雌花穂がつきます。花は小さく、雄花も雌花も基部に長い毛があります。写真では、雄花穂は枯れ、雌花穂はいわゆるガマの穂になっています。



「古事記」には、「因幡のシロウサギ」の神話がありますが、その中で、大国主命（おおくにぬしのみこと）がサメに毛をむしられたシロウサギの赤い肌を治すのに、ガマの穂綿を使って治したということが書いてあります。当時の人々が、薬草を使っていろいろな病気やケガの治療を行っていたことを知る重要な手掛かりになっています。実際に、火傷、利尿、止血などの薬効があります。



また、「ガマ」に関することとして蒲焼（かばやき）があります。土用の丑の日には、ウナギの蒲焼を食べますが、昔はウナギをぶつ切りにして、串焼きにしました。その形がガマの穂に似ているので、蒲焼と呼ばれるようになったともいわれています。

■ 自然人（しぜんびと） ■ 自然の中でがんばっている人たちを紹介します

このコーナーでは自然活動をがんばっている若い方にスポットをあて、自然の魅力や活動、目標などを紹介していただきます。



今回は「鶴岡市自然学習交流館 ほとりあ」
学芸員の上山剛司さん（つめ。）です。

「ほとりあ」
ここです！



「大きいザリガニだったよ！」「でっかいオタマジャクシいたよ！」
私が働く施設、愛称『ほとりあ』の玄関先で聞こえてくる小さいお客様の声。

全国で、里山の風景やいきものが姿を消したように、『ほとりあ』周辺の湿地でも、冒頭にでてきたアメリカザリガニやウシガエルなどの外来生物たちが自然環境を代表するいきものになっています。目下の課題は、当時の移入目的を失い、生態系に影響を与える外来生物を含むいまの自然環境と人の関係の再構築をはかること。いまある自然と人がどのようにかかわりあうか多くの人たちと意見を交わすことは、持続的な環境保全活動を実現させていく上で大切なことです。



その第1歩として、『ほとりあ』では2012年より外来生物駆除事業を本格化。2013年からは活用・循環をキーワードに駆除したウシガエルとアメリカザリガニを市内の料理店舗に提供し、日常的に外来生物料理を味わい、保全活動について知ってもらうプロジェクトを開始しています。また、毎年夏には外来生物の命をテーマに、移入目的や食べることの意味について考える「いのち学」を開催しています。



時代とともに自然も人の暮らしも変化し、人と自然との関わり方もまた変化しました。改めて、人と自然の関わり方についても再提案することが求められています。多くの子どもたちや市民の皆さんと一緒にこの地域の自然環境の未来について考えていきたいです。

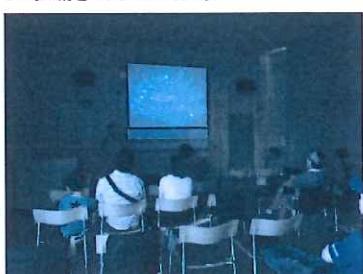
←アメリカザリガニのボイル

★鶴岡市自然学習交流館 ほとりあ★ <http://hotoria-tsuruoka.jp/>

■ ようこそ！ビジターセンターへ ■ 裏磐梯ビジターセンターの活動を紹介します

夏休みイベントで盛り上りました！

7月16日から8月31日まで、裏磐梯ビジターセンターでは夏休みイベントを実施しました。今年は、「葉っぱのしおりを作ろう」と「星空スライドトーク」を新たに加え、例年人気の「ウチダザリガニを捕まえて食べちゃおう」や「わくわく散歩」、「スライドトーク」、「裏磐梯の生き物調べ」とともに実施しました。



葉っぱのしおりを作ろうは、葉肉を落としてきれいな葉脈だけにしたものをしおりにしました。星空スライドトークは、裏磐梯で好天の夜に撮影した天の川や夏の大三角、さそり座などを用いたスライドトークで、裏磐梯の星空の美しさに歓声が上がりました。

夏休みイベントで、一層多くの自然好き、裏磐梯ファンが増えたようで嬉しいです。

■ お知らせ ■ ※ウェブサイトからも裏磐梯だより最新号やイベント報告の詳細をご覧いただけます

秋のイベント開催！ 11月6日（日）まで！

参加費／開催日時／所要時間／定員

★わくわく散歩★

ビジターセンター周辺をスタッフと一緒に散策しませんか？裏磐梯の自然、国立公園におけるルールやマナーなどをご案内します。

100円／随時受付 30分／10名



★スライドトーク★

スライドを使って、磐梯山の噴火や五色沼の水の秘密、裏磐梯の自然の見どころなどをお話しします。

無料／随時受付／40名



★裏磐梯の生き物調べ★

毘沙門沼周辺や五色沼、レンゲ沼・中瀬沼で見つけたあの生き物は何でしょう！？撮ってきた写真を元に、名前や特徴などを調べてみましょう。

100円（別途写真プリント代がかかります）／随時受付／なし

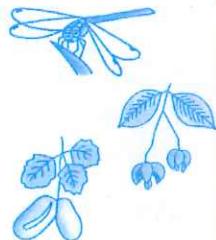
★講演会★

講演会の実施を予定しております。詳細は決まり次第、Webサイトで告知します。

※ わくわく散歩、スライドトークは都合により実施できない場合があります。スタッフにご相談ください。

9月～11月に見られる生き物たち、紅葉について

暑い季節が終わり、紅葉が楽しめる時季になってきます。標高が高い磐梯山山頂や西吾妻山山頂から始まり、ブナやミズナラ、カエデ類等の広葉樹が赤や黄に染まります。五色沼周辺でもウルシ類やイタヤカエデ等が一足先に染まり、シーズン後半にはカラマツが黄色く染まります。西吾妻山や雄国沼、デコ平湿原では草紅葉も楽しめます。また、ツリバナ類、アキグミ、ミツバアケビ、トチノキ等の木の実が熟し、秋らしさを演出します。



裏磐梯はツキノワグマの生息域です。散策の際は、クマ鈴などの音で存在を知らせてください。目撲しましたら、ビジターセンターにご連絡ください。



「裏磐梯だより」について

■ ウェブサイトからもご覧いただけます！

年間6回（奇数月）の発行ごとに更新します。どうぞおたのしみに！

■ 総集編 vol.1～3 販売中!!

※各1冊 1,300円（税込）

裏磐梯ビジターセンターにて販売しています。

■ 郵送でお届けする定期購読も！

ご住所とお名前を明記の上、82円切手6枚（1年間6回の送付分）を同封して裏磐梯ビジターセンター宛にご郵送ください。



★ビジターセンターの窓から★

少しずつ葉っぱが赤や黄色に染まっています。紅葉を見に行きたい場所が多くて困っています。（ろっぴ）

9月下旬～10月下旬の裏磐梯は紅葉のシーズンです。錦秋の裏磐梯を楽しんでください。（くりりん）

磐梯山の明治の噴火でできた五色沼湖沼群は魔法にかけた沼たちだつ！（ターサン）

涼しい秋風が心地よいです。私にとっては秋もやっぱり蛾の季節。（はるるん）



—吾妻山の火山活動状況—

噴火警戒レベル2（火口から概ね500m規制）

淨土平から一切経山への登山道は一部を除き通行できません。

開館時間

夏季 4月～11月 午前9:00～午後5:00
(冬季 12月～3月 午前9:00～午後4:00)

休館日 毎週火曜日、年末年始休館
(火曜祝日の場合は開館し翌日休館)

〒969-2701

福島県耶麻郡北塙原村大字桧原字劍ヶ峯 1093-697

TEL 0241-32-2850

FAX 0241-32-2851



ウェブサイト <http://www.urabandai-vc.jp>